集市元百六吊百至六吊三百
高粱價錢五吊四百文至五吊
香車共上車三十餘輛
遼東共來七十餘輛
元回六吊九百至六吊八百

一七九半紙 一全 一圓八十錢
一連紙 一連 一圓
一フールスカツプ 全 四圓
一中判洋紙 全 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢

一全三組道具 一圓五十錢以上一圓七十錢
一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一白毛布 二枚綴 八圓以上十五圓
一縞毛布 一枚モノ 四圓以上六圓五十錢
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

$4.80 per 6 months.
Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
*The Manchuria Daily Report Office.*
*Newchwang.*
Telephone No. 29.

廣告料 二十一字詰一行一回 銀二十仙
一ケ月以上 半ケ月以上 銀十五仙乃至十仙
一長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

# 滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文


特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所 横濱 神戸 東京 長崎 大阪 倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 天津 北京 大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室 百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
相模丸 四月十日發 大沽、芝罘、仁川、釜山 長崎、門司、神戸行
長幸丸 四月八日出帆門司、横濱行
苫島丸 四月八日 神戸直行 乘客は一二等室無し三等室に限る
山城丸 仝十三日出帆 太沽、芝罘、長崎 神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行 (電話廿六番)

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮州丸 門司 神戸行 四月八日出帆
代理店 東營口公園地横 ブッシュ兄弟商會 遠來洋行 (電話二十三)

瀛船出帆廣告
日之出丸 四月七日長崎直行
摩耶山丸 四月八日門司神戸行
末廣丸 四月八日門司直行
日勝丸 四月六日入港
日海丸 四月七日入港
錦龍丸 四月七日芝罘行
香椎丸 四月七日芝罘行
萬成源丸 四月八日龍口行
日米丸 四月六日天津行
營口代理店 松茂洋行船舶部 元神廟街三〇六號 (電話五二)

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名遐邇以之架造屋宅及製造各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞並本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之需 國本主人啓

宅合名會社分莊
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一〇三

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存機貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西櫃(電話架設中)

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達)櫻花牌(撒空)百合花牌(利利)均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆治來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸營欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元探買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船 摩耶山丸 賴朝丸 專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東淸鐵路公司運送貨物自牛家屯大連鐵嶺至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全又有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷 松茂洋行(電話五十二番)

三井 電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭、糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八号)

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行 電話 第六十六號 第九十一號

生徒募集
營口瀛華實學院 招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し最に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし 營口 瀛華實學院
本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歳常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏且生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

周 東清鐵道 裕和盛運輸局 (電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟草代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

材木 荒物 販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號小野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

税關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
綏定門街第五〇 營口英國領事館東首
三仁公司 (電話一五〇號) 小島榮蔵

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙訂五彩印字連墨具他各件紙料一切統由本紙行出售貴客惠顧請至江西路五十一號本門牌可也
中井洋行

東洋號運貨局
本局新設新民府今經官准由新民開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉乘人局所辦事宜誠實爲旨懇切受托重且不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨物多少論或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知
新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

丸重洋行
貨物運輸
啓者 本行前在營口躉賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東淸鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨 如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話 營口六拾六番 牛家屯四拾八番

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲疊
喜久洋行
營口永世街八十號 (電話百五十二番)

太古輪船公司
啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口 太古輪船公司

啓者有遼陽聚豐隆在遼買東升廣會票一張計廣字元番聚豐隆名下營平銀壹仟零柒拾兩正係營口永遠興照付又買天和福一張字一百六十二號聚豐隆名下營平銀伍佰參拾伍兩係營口廣順棧照付又遼陽廣興義托聚豐隆客人王輔臣帶來營信內附會票一張在遼買公立公司公字二號泰峯鎮名下營平銀壹仟零柒拾兩係營莊匯源達照付以上會票於清歷三月初九日由遼陽乘火車赴營晚一點鐘行至牛家屯東在火車內被匪人切去並失去手票爲此聲明無論落在何人之手作爲廢紙望各中外官商切勿收用特此登報勿謂言之不預也
清歷三月十二日
遼陽 廣興義 聚豐隆 二家仝啓

## 倫敦電報

**●英國人と英露默契** タイムス新聞曰くアルジエシラスに於けるモロツコ會議の結果として佛露同盟及び英佛默契を補ふに英露默契を以てするの政策を誘起するに至らむことを希望するもの英國人中に尠からすと （四月三日發電）

**●同盟罷業の減勢** 米國歎炭坑の坑夫十萬人に對して其雇主は賃銀を增加せしを以て大に同盟罷業者の勢力を減するに至れり

**●伊國代表者の主張** モロツコ會議に於て伊國代表者はフエツツに赴きモロツコ國王に謁し會議の結果を報告し同國王の協贊を得へしと主張せしが反對の爲めに破棄されたり

**●露都の總選擧** 露國セント、ピータースボルグに於て昨日總有權者の六割以上は投票を行へしが政府は何等の干涉をも試みさりき （以上四月四日發電）

## 雜報

**●鐵嶺通信** 安齋源一郎

▲陳列館の開館 鐵嶺陳列館は本年一月着手せし以來三月十三日に到る間に於て內地各府縣及び在滿洲の日本人等より出品加入總數三千七百餘點而して其後今日に至る迄の間に於て到着せし點數を合し約四千迄之れに應募したる重なる府縣を數えんか大阪の百餘名の出品者二千餘點の出品數之を最とし次て神戶の出品六百四十五點之れか出品者六十一名、之れに次くを東京の三百七十餘點三十名の出品者京都三百四十點之れか出品者二十名等にして實に此四府縣の出品點數は全体の八分の七を占む

▲其陳列館の現況 陳列館は鐵嶺西門より鐵嶺停車場に通する人道の中間にして將來新市街の設計完成するにいたらんか尤も繁榮を極むへき地點即ち、現正金銀行及郵便局に隣し而かも停車場を距る纔かに二丁程の所にあり家屋は露國か病室用にとて築造したる長五十間橫八間（建坪四百）長方形の煉瓦造二棟にして西方にあるを陳列館とし東方に在るを賣店に充つ其二棟の外附屬建家十棟あり同陳列館は鐵嶺軍政署自から監理管掌する所にして本年一月之れか創設の議成なるや急に之れか設備に着手し諸修理及び陳列棚等の作製其他總ての木工土工等建築班の擔任竣成したるものにして而かも氣候の爲め土工其他の設備に進捗を害せられたり又一方軍隊輸送繁劇の爲め出品荷物の延着せる等豫定の三月一日に開館する能はす遂に本日即ち今神武天皇祭を期して開館するにいたれり館長は早間豫備憲兵少尉にして外に雇員二名通譯一名ありて直接事に與かる

▲開館式光景 場の入口には新たに設けられたる華麗なる門あり之れを入る右に幔幕を以て飾られたる受付所先つあり其他庭の所々方々に數十個所の模擬賣店は設けらる皆幔幕を以て粧ふ市中の女隊二百餘名之れに斡旋す陳列館も壯んに粧飾さる將來に賣店に充つへき陳列館と姉妹館たる四百坪の一棟は當日の宴會場及び餘興場に供さる案內を受け入場する者土屋中將、高橋參謀長、趙知縣錫防守府其他日清文武官、民間紳士として戒田正金其他日清重なる商人及び新聞記者等合計五百餘名と註せらる午前十一時を以て開館式は擧けられ午後一時を以て開宴さる餘興は市中藝妓輩の演舞する所なりき （四月三日發）

## ●滿洲南部の炭坑

（小川地質調查所技師談）

▲上世紀石炭 同炭は海岸に近き各所に散見し其產額甚た多からす故に露國は運送の便宜上最初海岸地方に於て採掘したるも漸次滿洲北部に進むに至れり則ち大連附近にては大窯口小窯口普蘭店附近の五湖嘴、瓦房店、烟臺本溪湖等にして遼河以西にありては山海關の西錦州の西北、門山開源等各處に鑛層存在し其個處多きも價値は概して貴からす就中五湖嘴は露國か海運の便利なると旅順大連經營の必要上最初に着手したる處なるも其產出量一定せさるため大規模の採掘を行ふ能はさりき而して其西北に水多くして採掘も困難なりしといへり又老君廟附近の如きも一時は日に二百噸內外を採出したりしも同しく水量多き爲め之を止めたり又瓦房店は其區域狹く炭層薄くして大設備の經營に適せす此の如く海岸に近き炭坑は失敗して漸次內部に進み終に海を去る二百哩の煙臺炭坑に着手するに至れり同礦層は舟形をなして南北に延び清人數百年間使用の後を受けたる露人の採出は北清事變中一時休止したりしも爾後再興して日に二百噸以上を產出するに至れるとき圖らすも我國との戰爭となり益々其用途を增加したるため遼陽激戰の際と雖も尙其採礦に從事し九月五日我軍煙臺に入るに當り始めて坑夫等の退却を見たり而して同坑の炭質は揮發分十四コークスとなるへきもの七十灰分十乃至十七にして粉末となり易く支那暖爐に用ゐるへきも機械用たる能はす以て煉炭を製するに適すへし又本溪湖の炭層は東西に廣く南に向つて傾斜し炭質烟臺炭に比すれは粘結質を有し揮發分二十なるも分量多からさるを以て烟臺の次に位す次に遼西葦子溝炭は揮發性十三の無煙質にして曩に雇技師たりしモーラーなるもの其一部開掘に從事し採炭は關外鐵道に給しつゝあり

▲中世紀石炭 寨馬集を首とし、鐵嶺附近大臺山、昌圖、開原方面の沙河子、放牛溝平拉山門、長春附近、吉林、海龍城等に之を發見するも未た相當の設備を以て着手したるものなし露人か煙臺の炭坑を失ふや冬期滯陣の急を充す爲め沙河子平拉山門等を試掘したるも未た充分なる結果を見るに至らさりき而して大臺山の如きは植物化石の明に認むへきものを含みて地質學の參考に供すへく寨馬集は揮發性二十以上を含有し嘗て其附近鐵礦の製鐵用に使用せられたりしも今は交通不便にして之を利用すること能はす

▲第三期石炭 撫順炭坑は露國に於ては殆んと煙臺と同時に着手し我軍の占領當時は坑路建物鐵道等の設備未た完からさるもの多く炭層の厚さも頗る疑問なりしか其後百三十六尺の層なることを發見し其間に存する夾岩十六尺を除くも尙百二十尺あり而して其一部に我高島の如き堅岩を有し其區域三四里の間に散見す層は三十度の傾斜を有して未た端末を發見せす幅の如きも亦未定なり即ち此の如き大炭坑はサクソニー及ポーランドの褐炭に例を見るのみにて其採掘方法の如きも我國に於て經驗したることなし又炭質に至りても揮發性四十三乃至五十六コークス分四十乃至五十炭分一六硫黃分亦少し（百分の一を超えす）其揮發性多くして燃え易きは我磐城炭に類し唯灰分の少きを異なれりとなす云々

**●旅順の忠魂碑** 旅順の海陸包圍攻擊は日露戰役の花にして又世界戰史の第一頁を飾るへき花なり凡そ世界ありて以來壯絕快絕悲絕慘絕哀絕の事多しと雖も未た旅順包圍攻擊の如くなるはあらす旅順の一大戰爭は是れ日露戰役の紀念すへき最壯最快最悲最慘最哀の大劇戰にして而して世界の戰役を紀念すへき最壯最快最悲最慘最哀の大劇戰なり左れは同大劇戰に親しく參加して各々陸海の兩軍を指揮せる東鄕乃木の兩大將は此未曾有の大戰を永遠に紀念せん爲め一は此大戰に參加し國君の爲めに其命を殞せる忠魂義魄を吊せん爲め白玉山頭に陸海軍合同の忠魂紀念碑を設立する計畫あり目下東京に於て其準備中なりといふ

**●鐵道旅行者の安全** 馬賊の橫行を慮り其筋に於ては晝夜警戒して嚴重なる保護を一般良民に與へられつゝあるは昨紙既に記述せし所なるが尙其筋に於ては旅行者に對し一層安全なる保護をせられんが爲め昨日より公衆便乘車に憲兵二名の監視を附せらるゝと云ふ其勞や實に多とすべし

**●眞鍋中將の來營** 日露交戰に赫々たる偉功を奏し名譽の負傷を帶び凱旋し其後留守第五師團長に就任し今は參謀本部の重職にある眞鍋陸軍中將は菊池大佐を隨へ當地視察の爲め昨早朝大連より陸路來營せられたり

**●露國領事の來任** 當露國領事館は曩に書記生ニクチン氏の來任と共に開館し已に領事館事務を取扱居たりしが今回駐北京露國公使館通譯官ベルチエンコ氏營口領事に任せられ數日前着任一昨日我領事館を訪問し着任の挨拶を爲せりと

**●與倉軍政官門司乘船** 豫て歸朝中なりし與倉軍政官には昨五日門司乘船歸任の途に就きたる旨當軍政署へ電報ありたる由なれば來る八九日頃には歸署せらるべしといふ

**●大石橋の在留邦民** 大石橋は東清鐵道中の乘換驛丈けありて在留邦民は守備隊を除きて七百五十名許りあり內普通在留者は百五十名にして餘の六百名は悉く鐵道員なりといふ而して每日同驛を出入するは四五十名平均なりと

**●營口大連間の爲替** 營口大連間には郵便爲替の道未た開けす唯た兩地間送金上の唯一機關として正金銀行あるのみなりしが百圓以下は取扱はずとの事に在留邦民の不便は一方ならさりしに今聞く所に依れば百圓以下の金高は絕對的に之を取扱はすといふにはあらずして五圓十圓等餘り零碎なる金高は徒らに手數と爲るのみなれは之を謝絕するとあるも送金上別段金額に制限は置きあらずとなり在留者の注意の爲め此に一言す

**●大連の正金支店** 大連の正金銀行出張所は愈々今回支店に昇格し前出張所主任平田恒太郞氏支店長に榮進せりといふ

**●東西南北** 近頃滑稽なものは滿洲博覽會であらう日本の方ではセツセと準備をやつても出來上つたものと心得て居る所へ總督府から其與かり知る所で無いと言つて行つたので其準備委員なる者がアツ氣に取られて居るとはどういふ間違であるか是れ程滑稽な事も少ないであらう▲尾州に七十八才にして其妻を失ひたる頭のテカ〳〵した老頭子が今度新妻を迎へたさうだが妙齡僅に十六とは素敵な若い花嫁である▲開戰當時に邦人の浦鹽斯德で金八圓を落した者があつたさうなが今度露國は八枚の耳を揃へてチヤンと日本に回送したげな償金問題で散々に日本をイジメて八圓位の金に義理立をするなんかテ日本を侮辱するにも程がある▲一英國婦人熊本に回春病院を建て癩病患者を救ふと四百名其投資額五萬圓とは外人の美擧眞に景仰に堪ゆ熊本人は本妙寺の淸正公を祀るよりも此婦人に合掌再拜するを要す▲英國水師提督ノーウエル大將再度の觀光を爲すべく橫濱港に着いたが今度は以前と打て變つた寂寞の有樣で埠頭へ迎に出る者すら無かつたさうぢやが數々すれば辱めらるとは能く言つた事である況して日本の如き冷熱の急變劇化する所へ二度と來るのは間違である

## ●人物月旦

**松倉善家君（上）** 覆面郎

松倉善家氏は商業家に非す、然れとも醬油を釀造し、輸送業を開始し鋭意以て商業に從事すると同時に益々商業を擴張せんと企圖する者也。彼の肌は有志家肌也、彼の氣質は軍人氣質也、彼の風采は刺客列傳中の風采也、彼の嗜好は政治家の嗜好也、彼の學問は寧ろ亂世の學問也、彼の生國は有志家の特產地也、彼は誤りて刺客となるも商人となるガラに非す。軍人氣質を有して軍人とならす、有志家肌を備へて有志家を以て居らす、政治家の嗜好を持ちて政治家を以て任せす特に其最短所に從ひ甚たガラに無き商業家を以て自ら任する彼も、亦た奇妙の人物には非さるか。

松倉氏は商業家に非す、營業に從事すると同時に國事に狂奔する者也、商略を案するも共に政略を議する者也、賣買を契約すると同時に後進を指導する者也、商機を窺ふと共に國情を探る者也、掛引の間にも武士氣質を示す者也、破顏叩頭の裏にも暗然稜々一片の氣骨を露す者也、然り彼は決して商業家に非す、唯た即ち商業を本業と爲すに過きす、所謂商業家は其の本業に對する餘儀なき尊稱のみ豈に乙の商業家もあれはあるものかな。

松倉氏は有志家にて商業家を氣取り政治家風にて、營利事業を經營しサーベル式にて算盤をへジキ有志然たる出立にて取引を論判する者也、故に彼は時に商賣の原則を反對に應用し、安く買ふて高く賣る物を高く買ふて安く賣る事あり破顏一笑賣買成立の刹那に叱咤、怒號自ら破談を招致する事あり若し夫れ勘定合ふて錢の足らさる如き彼の商業に於ては即ち珍しからすとす蓋し彼の商業は固より大阪風の商業に非す、又た東京風の商業にも非す、將た營口風の商業にも非す、實に東肥一流の商業也、浪人剣出しの商業也、抑も商業なる者は讀て字の如く業を商ふ者にして營利を目的とする仕事也、若し商業に從事して利益を收得する能はされは營利の目的を貫徹せさる者にして蓋し商業の精神を沒却する者也、斯の如くんは寧ろ最初より商業に從事せさるの遙に利巧なるに若かし、夫れ然り豈に夫れ然らさらんや、知らす東肥一流の商業は果して營利の目的を貫徹するに足るか、勘定合ふて錢の足らさる如き事の珍しからさる營業法か東肥一流の商業なるに於ては、豈に不安心千萬ならすや、昔者、廢藩置縣の爲に所謂士族なる者、全國各地に於て、商業の名目の下に一家の維持を企圖し、失敗更に失敗、維持の策は遂に離散の計となり、悲むへき運命に墜落せし者、各地に續出したる事あり、世人即ち武士の商業と云ひ以て今日に傳へて商業の無謀を誡む、東肥一流の浪人剣出しの商業は知らす、武士の商業には非る無からさるか。

或は曰く松倉氏か商業家の資質を欠き、商業家の修養を有せす、更に商業家の經驗も持たす、大膽に商業を開始し、無頓着に取引に從事し、無遠慮に事業を經營し、尙は且つ多大の損失を蒙る無く今日に於ては從前に比較し、寧ろ商業の盛大を示す者あるは、甚た商業家に不似合の如くにして實は大に商業家たる所以に非る無からすや、と夫れ果して然るか、身幹矮小の者と雖も、坐して高坐に在れは軀幹長大の者と尙は其頭を等ふするを得へし、坐して高座に身を置き以て其短を補ふは乃ち坐する者の智也、唯た頭の等きを觀て其の矮小を疑ふは疑ふ者の愚也、彼の商業も亦た此類には非る無きか、則ち失敗してシツポを出さゝるは彼の智也、其のシツポを出さゝるを見て失敗無き者の如くに思考し商業に堪能練達せる如くに想像するは吾の足らさる所にはあらさるか。

想ふに商業は彼の適當事業に非す、賣買は彼に於ては最も短所なるも其の長所には非る可し、適當ならさる事業に從事し長所を捨てゝ短所に從ふて營業す、恐くは滿足を得るの道に非らさる也自ら商業家を以て任する松倉氏の眞意は果して如何、抑も彼に此位の理窟を知らさる者乎。

**●女軍の逆醜（鐵嶺）** 一般女軍に一度び居住許可を與へらるゝや我れ先きにと押し掛け詰め掛け進擊せし鐵嶺も今や七百人以上となり參謀長指揮の下に一以て千に當るの强尻連も既に敵軍の懷中無一物迄に絞り揚げたる結果最早餘す所甚た僅少なるを見て取り先見の明ある一部の連中は遠くハルビン方面指して密かに行軍を試む隊もあり又腰弱なる連中は當地に逆醜し既に此間先發凱旋隊として四五十名歸營したりと云ふ扨ても〳〵

**●針金長殿のお百度參り** 積りし雪さへ旭で解ける結んで解けない戀の紐とは何やらにある文句、現時營口の針金局とかに長をせらるゝ金森某（卅八）は當地へ赴任以來他の署員には至つて品行方正の如く吹立てゝ居るが、そは表面を裝ふ噓の皮、裏面に廻ればアノ人がと云ふ程の開いた口が容易で塞がらぬお安くないお方なり、現に近頃南永世街滿洲樓の抱酌婦お富（廿九）と云ふ浦鹽臺灣朝鮮支那と各地を旅費なしに腕一本で漫遊せる人三化七の魔物に生捕られ、色は思案の外とやら御本人の目には他人の知らぬ何處となく仇な色香に迷ひ込み例へ世かさかしまにスツクンコロリンと返るともお日樣が西から出る事があらうとも針金長殿の出陣せられざる事はなく萬一御用の爲め止むを得ずお出浮なき時は例のお富よりチリン〳〵と針金が物云ふ至極便利で結構なる器を利用して三とか四とかを唸り出すと顏に似合はぬ其美音迚ても下手な貧棒書生の及ぶ所にあらず、之れには流石の針金先生も殆ど氣も逆上し何時も此手で釣り出され繁げ〳〵お通い遊ばす始末に彼お富は得意となり今は千差萬別の智能を絞り出し只管黃金吸收策を講じつゝありと御用心遊さぬと終にはお上の針金迄も捲き上らるゝ事もあるべしと兎角口善惡ない閑人が人の　氣を頭痛に病みて言ふ話を書の如し

## 投書かご

▲市內某時計店から二三軒目の理髮店は下手な癖に斬髮代は正規の通り六十錢取り上げる先達も一度理髮をしたら下手も下手見るに見られぬ大下手であつたので再び他の理髮店へ行つて刈り直した實に下手な理髮も營口にあるものだ（小舟生）▲白皮さん貴方が餘り澤山運動費をお遣ひになりますと地獄に落ちる人が出來ますよ貴方も退去の恩命の目玉を貰ひますぞ（半對注意）▲營口消防組に賴みたいは器具を使ふ人を大に改良して欲しいのである先達も東永茂の火事の時なぞは料理屋連中の丸切道具を持たとの無い者許りで頗る滑稽であつた（一見生）▲四日の夜或料理店で餘り室內が狹隘で欝陶しさに隣室を開放せしに生憎にも廿四五才の黑紋付の藝妓どのが客の退脚後殿の德利喇叭中であつたのに驚いた（見て喫驚生）▲滿洲樓の樓主は近頃亂暴な事をする每日藝妓や仲居の打たれる者が幾人あるか知れぬ其打たれる每度にピシンといふ聲が向三軒兩隣迄聞える何の爲めか知らんが野蠻な樓主である近頃動物虐待防止會なんていふのが日本內地に流行つて居るから我輩は其支部を營口に置いて兎に角三毛猫虐待防止會を組織しやうと思ふ（蛙面生）

**●營口で恐わい物** 營口で恐わい物は梅毒、憲兵の眼玉、女郎の親切であらう細君の劍突は何處でも恐わい（△△坊）

---

## 大車

▲上行車時刻表

| 車站名 | 開車午點分 | 到着午點分 |
|---|---|---|
| 新民屯至溝帮子 | 上六、〇〇 | 上九、五七 |
| 營口至山海關 | 上八、二〇 | 下六、〇〇 |
| 山海關至唐山 | 上一一、一八 | 下六、二〇 |

▲下行車時刻表

| 車站名 | 開車午點分 | 到着午點分 |
|---|---|---|
| 北京至山海關 | 上八、〇〇 | 下六、二〇 |
| 北京至天津 | 上一一、二〇 | 下五、四〇 |
| 北京至[illegible] | 下二、四〇 | 下八、二〇 |

## 稅關手續


一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
一、日本郵船部、回漕部
一、爲替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候


## 天氣

營口地方天氣豫報 自四日午後六時至五日午後六時

南の風晴れ

新作小説　小説　おとし胤（二十九）　德田秋聲

寛齋老人が、承知するか、承知せぬか。これが甚だ健三の氣遣。

「お前が、私の世話をするといふのか。」

と寛齋老人は、嚴格な語調で謂ッた。

「はい、其樣なてとに孃さんとお約束をしたのですけれども…………」と更に噓の度合を高めて、「先生が、御承知なさいますか、何うですか實は孃さんが此方へゐらッしやるうちに兩人でお願する筈だッたのでございますけれども…………」

「然うか。」と寛齋老人は、鳥渡首を傾げて、「それは有難いが、併し光は、些とも其樣なてとは謂はんかッたぞ。」

と急所を突く。

健三は、狼狽て、へゝゝ、へどもどしながら、「其樣なてとは無い筈ですが…………それは何んでございませう。多分其の何んで…………其の急に發足れたものですから、それで何んでございませう。」

「然うさの、然うかも知れん。最も其樣なてとを謂ッてゐる暇も無かッたのぢやから。」

と思ッたよりも氣輕な返事。勿論寛齋老人は、よも健三が噓を吐かうとは思はぬのであッた。

健三は巧に老人を欺いたのだ。それが善にもしろ惡にもしろ、欺いたてとは正に欺いたのであるから、健三は最早善良な少年と謂はれなくなッた。

健三自身もまた、豈夫に心が盲目になッて居らぬから、密に内に顧みて、背に冷汗が流れるのであッた。即然騎虎の勢である。此うなッては後へ退かれぬ。欺いたゞけの効果を得なければならぬ。そこで彼は更に大膽になッて、老人に即座の決答を促がしたのであッた。

「何うでございませう。私は、先生の許へ參ッて、確に孃さんのお約束を守りたいのでございますが…………私の力の及ぶだけ先生のお世話をしたいのでございますが。」

と謂切ッて、息を凝らして老人の顏を見詰めた。

寛齋老人は、少時默ッて考へてゐて、

「そりや何んぢや、お前の家の方にさへ故障が無かッたら、私は、決してお前等の志を無にしない!」

「ぢやお聞届下さいますだね。」

と健三は、雀躍せんばかりの悦。

「聞届けるも何もあッたもので無い。私も年を老ッて、心は氣張ッて見ても、體が利かんからの。お前が世話をして呉れるといふなら、私も至極滿足ぢや。」

健三は、重荷を下ろした心地で、吻ッと胸を撫下ろした。

「それでは明日から參るてとに致します。」

「おゝ、明日と謂はんでも、明後日からでも明々後日からでも可いから、能く家の人等とも相談しての。」

これで、健三の所思は確に貫徹した。所詮見事老人を欺き了せたのである。

* * *

健三は、老人に別れを告げて、舊の通り勝手口から外へ出た。春と謂ッても、夜風は尚だ冷である。此の冷な夜風に顏を撫でられて、そして眞ッ暗な闇の中に立ッた時に、健三は惡い夢から覺めたやうに、微に身慄した。

「あゝ、何故俺は、彼樣な噓を吐いた。何故眞箇のてとを謂ッて、先生の世話をさせて貰ふてとにしなかッた。これでは片手で雪を掴ッて、片手で泥を掴ッてゐるやうなものぢやないか。」

此樣な風では、此の後、何樣な塲合があッて、何樣な噓を吐いて、何樣な惡いてとをせぬとも限らぬ。考へると健三は、我ながら徐々のてとが恐ろしくなッた。

「現に今朝も…………あゝ、何んたるてとだ。何んたる淺猿しいてとだ。半分夢中で他の手紙を引裂かうとしたでは無いか。其の手紙を持ッて逃げたぢやないか。こればかりでも、俺は一生拭ふてとの出來ない罪を犯したのだ!」

而も不思議な因緣から、其の手紙が、彼の懷中にあるのだ。

健三は、ふと其へ氣が付いた。

「さ、此の手紙は何うすれば可いだらう、誰に渡せば可いだらう。誰にも秘密にして呉れといふ此の手紙…………先生にお目に掛けても惡いだらうし、…………困ッたな。何うすれば可いか。一体此の手紙には、何樣な事が書いてあるのだらう。」

と考へると、彼は妄と此の手紙が見たくなッた。惡い心は、また勃然頭を擡げて、制へても制へきれぬ。叱ッて見ても利目が無い。一度思立ッたら、もう駄目だ!

○解脱　紅雨

育てゝし土を汚れと皮はぎて
　小さき玉葱これ解脱とよ
斥候して里は何處と言問へば
　すもゝ花咲く彼方をぞ指す
大野原駒をすゝめて道問へば
　塘の青柳さし招きけり
白き駒に紫の手づなかいくりて
　うたす春の野すみれさく野邊
家破れ主なき庭に一本の花
　露含む海棠の花
にがき世の智惠につかれし我に許せ
　うま酒くみて花に眠るを
旅衣一夜假り寐の露にぬれて
　干すによしなき長途の思
驛路の一夜の宿に相逢ふて
　馴るゝも悲し明日よりの思


廣告

廣告

一生石灰　五千鑵

入札保証金各自見積代價百分ノ五以上

右購買す入札望の者は本月十三日までに當署經理課に就き入札心得書、契約書案、見本熟覽の上同十五日午前十一時入札すべし即時開札す

此契約は營口軍政官輿倉喜平担任す

明治三十九年四月一日

營口軍政署

法律事務所の開始

生儀前ニ判事幷ニ地方法院長等の官職に歷任し及び辨護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辨護訴訟事件い鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依頼に應ず

營口永世街金城館南隣り

小林法律事務所

從七位勳六等　小林一生

○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絕對に謝絕す

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口ブリッジ紋定商會門街東

川喜鐵工場

東營口郵便局東隣
島田洋服店

新民屯停車場前
同支店

鐵嶺　西門外大通

御旅館　御料理

福屋

廣告

組合規約追加

組合員にして其內外を問はず妨害又は損害を加へられたる時は其旨事務所に屆出べし此の場合に於て事務所は直に役員の審義に付し果して屆出に相違なきときは之れを新聞紙上に廣告すると同時に組合一般に報告す組合員は其者と取引をなす事を得ず

右今般組合總會の決議に因り追加條項として相加へ候條及廣告候也

年　月　日

營口材木商組合

和洋會席　御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候

營口永世街二本町

日本館（電話百三十）

各位樣

質屋營業

精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口南永世街憲第三十六號

北斗洋行質屋部

料理部開業披露

弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粹を拔き藝妓仲居も態々內地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整愈々本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候

追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　第一營口ホテル

料理　第一樓（電話八四）

店主　山縣光雄

土木建築請負業

山縣工程局

主任　山縣光雄（電話七九）

加能越

來る七日午後六時（營口時間）日本館に於て三州會を開く三州の士、奮つて御來會あらん事を

但會費一人銀四圓當日御持參の事尚御出席の諸君は前日迄に日本人會水口虎藏宛御申込みを請ふ

發起人　平岡佳吉　神野良　宮崎宗朝　中辻喜次郎

お料理

滿月　平の町　電（六二）

滿月支店　平の町元都樓跡

店主　吉本[illegible]

故沖禎介

追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集し上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度くと存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也

一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、紙判は美濃紙大
一、沖莊藏在沖縄縣那覇地方裁判所官舍

御問合の件あらば左に

新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政則

大清通運公司安田貞藏

同志友人　敬白

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯清潔
接待優遇懇切

開放仝時一開業
奉天小西門外ナ街路北

御旅館　豐陽館

上海（電話一〇六番）

日本郵船會社荷客取扱

英米瀛船乘船取扱

館主　米田藤吉

大阪商船會社　荷客取扱所

內外船舶代理店　船舶貸借仲立

水陸輸送貨物仲次　艀船人夫運搬請負

輸出入稅關手續　倉庫業

諸品委托賣買

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候瀛船御乘船之御方樣は御一報次第切符持參仕候尚御手廻り貨物持運ヒ等當店送迎組ニ御用仰付被下候ハヽ迅速確實ニ御取扱可申上候

末廣丸（一五〇〇噸）

四月六日午后門司、新潟行

西北街　德重洋行

M. Iizuka,

CONTRACTOR,

ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.

MODERATE RATES.

No. 151 Yuwansinmiao

Ying Kow

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す

▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄

姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森矯

副院長　醫學得業士　長船郁太郎

◎院長森矯　久敷歸朝中の處今般歸營　診療に從事す

◎本院齒科開設　齒科醫　兒島市郎

本月十五日より開設す　森病院

石材、碎石
並に自家製造
瓦、煉瓦 廉價販賣
營口元神廟街四十號第二號
**順吉洋行**

CARTRIDGES.

We have just received large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

**獵銃彈新荷着**
第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候
ブッシ商會

本家 日本東京神田鍛冶町 堀內大藥房
**あさだあめ 淺田飴**
肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥
有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街 東瀛大藥房
房主 藥劑師中馬能造

Yano & Co.
**矢野洋行**
Telephone No. 137 電話一三七
諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々
今回新荷着致候間直段ハ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
謹言

**發賣** 材木 標子 木板
**鹽川商會**
清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)
遼陽小西門內 鹽川商會 ●建築
外に
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

**旅人宿 東館**
大連市信濃町卅丸號地
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

**醇良自釀清酒**

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢
醬油 瓶詰樽詰
菓子
罐詰 色々
洋酒類
右取次販賣
牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

大日本東京
本山崎帝國堂藥房處修舖
**腦丸**
**天授**
天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也
たんせきねつさましの一切の妙藥
腦丸者天下唯一之腦病靈藥也
腦病の名藥にして他に類なし
大清國 總批發處
營口大街(永世街二本町)
藥司洋行 淺野爲三郎
藥劑士
福壽堂 大葯房
醫械藥材 有名靈藥 總發賣處

**大日本政府特定**
**官製口付紙捲煙草**
**滿州一手輸入發賣**
**江副洋行**
營口永世街

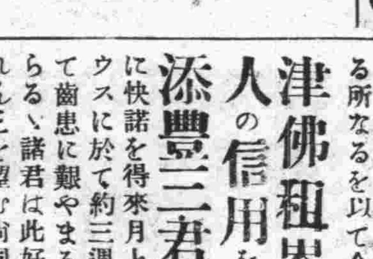
**廣告**
當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す
建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號電話一七三番
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽
**毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告**
ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜裂破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり
リサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし
米國紐育スターンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店
營口元神廟街第百七十二号電話一七三番
井上公司

大日本帝國醫科大學模範藥局御用
攝津灘石崎合資會社釀造
醇良清酒 **澤之鶴**
滿洲特約大販賣
**裕和盛號支店**
清國營口西北街
電話八十一番
大連湖北彩票毎日賣出
東清鐵道裕和盛運輸局
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種
○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、
○支店清國、芝罘
○本店日本長崎梅香崎
裕和盛は 清商中日本通の張本!
澤之鶴は 既に定評ある天美錄!

萬事勉強 乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 **東京樓**
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)
西洋料理仕出し御需に應ず
即席和洋料理 東京樓支店
(電話四十四番)

**會席料理 三日月**
營口警務課前南に入る

御手輕料理
一釜飯御一人前 五十錢より
一卷壽し 一本 十五錢より
一湯豆腐 一壺 廿五錢より
一東京壽し 一人前 卅五錢より
右之外御誂に應ず

營口元神廟街二〇九號
**翁亭**
月 日

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、
(萬)醬油、白米、鰹節
罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盜(コノワタ)、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らす御用仰付られ度伏て奉願上候也
東營口永世街第廿八號
雜貨商 **大原洋行**

**廣告**
齒の衛生治療は一日も等閑に附すへからす然るに當營口に良齒科醫無きは予輩の最も遺憾とする所なるを以て今回二三有志相謀り目下天津佛租界に於て開業し內外人の信用を博せる齒科醫田添豐三君の出張治療を乞へるに快諾を得來月上旬より本埠マンヂウリヤ、ハウスに於て約三週間許治療に從事せらるゝを以て齒患に艱やまるゝ諸君及ひ齒の衛生を重んせらるゝ諸君は此好機を逸せず續々治療を受けられんことを望む尚同君來營の期日は重ねて紙上に廣告すべし
三月三十日
營口有志者白

時刻

| | | |
|---|---|---|
| 天津至北京 | 上二、〇〇 | 下五、二〇 |
| 山海關至北京 | 上八、〇〇 | 下六、四五 |
| 山海關至營口 | 上七、〇五 | 下四、五五 |
| 溝邦子至新民屯 | 上三、〇〇 | 下六、五七 |

市場北三階樓 時計店ノ二階 宮原公司

昨日の氣温　昨日最高温度四十二度八　最低温度二十六度六　昨年との比 低七度九 低六度三

## 宮門抄

初八日

工部　鴻臚寺　正藍旗值日無引　見　荊州副都統松鶴謝　恩　祥年謝調缺　恩　雲南鹽法道載林謝　恩　存厚李馨國　李經野伺候　召見

召見軍機　存厚　李馨國　李經野

政務處遞封奏一件

初九日

內務府　廂藍旗值日無引　見　陳名侃因伊子補巡警部主事謝　恩　崇壽劉永亨由　東西陵回京請　安景禐前往口外賜奠請訓　恭王請假五日　桂公續假五日　載林沈潛程利川伺候　召見

掌儀司奏十五日祭

奉先殿恭王行禮

召見軍機　沈潛　程利川　載林

皇上明日卯正二刻進內至

建福宮行禮畢還海

外務部封奏一件　吳保齡封奏一件　練兵處封奏三件　王誠義封奏二件

## 論說

### 原我論

人莫不喜公而惡私。一言我而私甚矣。人莫不尚讓而斥爭。一言我而爭起矣。因私而爭。以爭行私。私爭循環。兩相因果。而人道乃大擾。故治天下者其必自去私爭之見始。然私爭者。乃利我之一大主義也。欲去其之必自去我始。我其果可去乎。我者對人之通稱也。人各有我。我各有人。我者乃天地間天然之一大畛域。歷萬古而不能易者也。欲去之其必自去人始。人又果可去乎。芸芸衆生。布滿大地。謀生營食。競逐方起。人可去而爲我之主義終不可去。我嘗觀之上古之世矣。鴻荒初闢。草莽擊撑。獸䝟猿交遍坤瀛。而當時人民亦吁睢自樂。混沌七竅。穿鑿無事。固尚無人我之見存也。然人獸之防。燦然大明。衣毛飲血。鋤之務盡。聖明繼起。芟之愈亟。不數世而光明莊嚴之世界。乃出見於世。嗚呼、世界之闢。其人獸之辨。爲之原動力乎。蓋禽獸之在上古。其勢幾與人等耳。居處之安固。性質之猛鷙。爪牙奔走之矯勁。舉無不可以勝人。使爲我之思想太缺乏。爭逐之勢力不擴張。則人類之滅久矣。然卒戰勝於皇古。然則人獸之辨。其又辨於知爲我與不知爲我乎。大造至公。不惡自私。至仁愛物。不惡去害。莽莽千古。不知紀載。上溯王皇。下迄今茲。其間之劇烈大激鬥。誠不能記憶。彼而着固於人道未盛之前。開一片蒼涼境地。演人獸之戰爭。以一試其自私自爭之强𢦏。亦可知爲我主義之爲急矣。嗚呼。自私之念。與生俱來。始而人。繼而人我。非惟勢有使然抑亦性有使然也。且人我之分。固有急於人之分者。人道大患。莫甚於私與爭。然自我觀之。合則私。公則各物其物。各貨其貨。無所謂私也。合則爭分則各事其事。各利其利。無所謂爭也。百口之家。兄弟妯娌。終日操戈。析而分之。則翕然止。各保其田產而莫相侵。未始非息爭之一道也。萬物奔馳。井然有序。權之所及、獨立難侵。尊莫尊於我。專莫專於我。强亦莫强於我。等人也一稱之曰我。則人自不敢侮。一物也。一冠之曰我。則人自莫敢奪。等心思才力也。一言我。則凡爲我之所能及者。必盡逞其威力而後止。蓋人我之辨既極。而人亦不自諱其爲私與爭矣。故世之論此主義者。率爲二派。一爲我。率此主義而走其極者也。一利人反此主義而矯其弊者也。然爲我有界限。以我不侵人。人不侵我爲界限。利人有目的。以犧牲一已補救社會爲目的。一倡强權。一重義務。放而行之均可治國。此楊朱墨子之言。所以辨論千餘年而尚未有所折衷也。然吾謂富爲我思想者。必富自强與拒性。人我既分。渺無援助。將伯之呼。難望親友。立身於四面楚歌之裡。不得不奮勇直前。以冀脫臨危之地。此自强性之勢使然也。揮我鐵拳。與人攫取。强暴之來。奮戟長門。雖門外盡成敵國。而室中猶謀防禦。此拒外性之勢使然也。具此二性。力以行其爲我主義。固覺游刃有餘耳。推而行之。群與群爭。則以一群爲我。國與國爭。則以一國爲我。棄一已之小我。而爲團體之大我。利害相關。衆志成城。揚旂一戰。萬國震慴。我乎我乎。其聲名乃大振揚乎。其爲我之眞主義亦大發現乎。

## 中外要聞

●女醫初立　日前太醫院莊守和氏至慶王府稟請設立女醫學堂其欵項在本署難於籌辦另請慶邸示以籌欵之策

●川藏勘路　聞外務部日昨電致四川制軍錫淸帥署謂川藏鐵路速爲履勘畫界應由某縣某地爲始估計里數需欵若干作速繪圖貼說送部以憑核辦而免外人垂涎等語

●整頓稅關　海關總稅司赫宮保至外部告以洋關經過應稅物品時有某國竟倚威勢藉口抗查等情應請貴部照會該國公使轉飭該商遵照稅關條約如不遵照即應照章倍罰云

●中俄協商　茲聞俄館消息日前璞公使與唐侍郎但提東省林礦魚鹽皮革鐵路之事再四會議非歸中俄合辦不可至於蒙古路礦璞公使尚未提及昨偵探該地人在館正在議商如何開議云

●黑省開埠　聞外部日昨接到黑龍江將軍來電略稱該省宜速開放而免外人凌擾商業應請大部將開埠一切事宜章程早爲妥訂以憑照辦等語

●電催返國　外部人云日昨堂憲秘奉　懿旨電致端戴二大臣至丹國考察政治畢迅即回國云云

●俄有深心　俄公使日前秘派偵探員博意浪思前往蒙地勘查礦路昨博某專人回京據該館人云博某寄來已開礦圖一冊畫綫鐵路圖一紙均註俄文　又聞該館人云博意浪思氏在伊犂須住多日不能三月底回京現博君已由由庫倫銀行撥用欵費再赴新疆尚有應辦要事云云

●批示職商稟辦磚窰　山東歷城職商張姓近在西關買地開辦利豐磚窰具稟商埠商務兩局現奉商務局批示云查前據職商徐鏘鳴稟稱購辦磚瓦機器擬在濟南商埠附近地段安窰取名志城有限公司嗣後除土窰外他商不得在該處購機開辦等情並呈章程到局當經批准試辦一年並詳請咨部在案茲據稟稱擬在相近商埠地方開設利豐窰廠是否土法擬用機器並未聲叙究於商埠地界有無窒礙亦難懸揣旣經分禀仰候移請商埠局核飭遵辦

●籌款練兵之計議　浙撫張中丞亟擬編練新軍一協而一時未有的款尚未實行近已向運司信都轉商酌擬籌集一百萬作爲練軍之費聞都轉已允爲籌墊五十萬云

## 雜報

●改定九南路線　江西九南鐵路前擬由蔡家湖至九江嗣因路線灣曲改由塞口經九江官牌夾至九江車站茲聞該工程師已由塞口勘驗繪成路線之圖於日前呈送來省經總辦李薌垣方伯查閱不日即當興工矣

●索還電線　吉林黑龍江兩省之電線久爲俄軍所占領迄未交還故外務部向駐京俄使交涉飭俄軍速將該電線交還勿得再行延宕云

●人種改良之先聲　法律大臣沈伍二侍郎以國民之懦弱皆因不重體育而推原其弊則莫甚于早婚現擬明定限制禁男女早婚之法律以爲人種改良之地步云

●馳車宜愼　昨午後有一裝貨之大車在魚市口馳騁誤將抬泥茶壺之籠觸倒於地彼此爭論非包賠不可幸來往行人從中勸解細點其數只傷其一由車戶出洋六角以作賠資云

●豆價宜知　妥出圓載元豆價銀七兩六錢五分共妥一千石

●咎由自取　本埠前宵永發茶園演唱珍珠衫劇女伶王翠琴出臺正値聲容拍奏之時座上一少年狂擲橘皮恰擊琴額琴轉身拂落少年又擊司台之田五者怒而呵責少年惡聲應之田九躍下臺來勢欲揮以老拳被衆阻住少年見其兇猛避而之他衆咸謂其咎由自取云

●天津異聞　昨有自天津來者云該處站崗警兵於今正十九夜見北官道上有無數兵隊東由海岸西向大津絡繹於道回報巡長巡長親往瞭望時月已東升遙見卿梅疾走雲擁風馳形同赴敵急報總巡總巡疑爲寇盜飭備槍械礮具嚴陣以待但見旌旗蔽空浩無涯涘未敢如何至曉撤隊而歸遍詢天津軍署人莫之知諺語陰兵或即此歟

## 叢談

●古器　近年河南衛輝府或開井掘得龜板大小數千片上皆刻鐘鼎文亦有灼痕驗之蓋商時卜人所刻䌛詞亦有刻諸牛骨者推之知在時灼龜之狀又知古人每卜必由卜人換䌛詞且親刻諸龜板故古人用龜甚多又知古亦有牛骨卜鍥刻皆精絕其鐘鼎文多與向傳之文相合惜多不能識者又皆碎片不能由上下文義推尋然一日見三千年前文字眞奇寶也或云掘得此物之地即在古美里去年距長沙城外三十餘里有掘得蚌殼數枚中係五彩繪畫狀頗古拙且漫漶不可辨其邊沿亦光滑無稜角不知古爲何物及十年前長沙地外或掘得一段中有周錢數枚又有得古貢錢者狀橢圓而厚重約一兩上鏤言金二字疑即周穆王時之鍰也

●不可再睡　歐洲近來畫報有繪馮夏威先生一事足可華人烱戒該報一馮夏威其身是大爆竹其臍是爆竹之藥線晝曾公少卿執火燃之又畫數華人熟睡似驚覺然夫以今日西人視華人亦似驚覺矣覺者不睡精神皆有之物治內禦外即在此時誠恐精神不足一振復蹶依然夢入睡鄉其貽笑外人非淺鮮也世傳希夷先生一睡千年近於荒誕即古詩云十年一覺揚州夢此時此景可以不泥此詩語

NEWCHWANG, FRIDAY, APRIL 6, 1906.

### A Kindness That Is Not Wasted.—(Part VI.)

The recent issues of the "China Review," having given nothing in the Yangtzekiang Valley more closely suited to our quoting purpose, we shall take up for a counter-remark the accusation under notice, the too obscure wording of which makes us feel as if striking at the shade of the mighty from a respectful distance.

Matters revolutionary in China are, as a rule and with few exceptions, identified with the student class. The largest quote of them going abroad hails from the Yangtzekiang Valley. Kindred tongues, geographical proximity, much cheaper cost of living, and the last but not the least, the phenomenal rise of Japan in the international status have attracted a far greater number of Chinese students to Japan than to any other country, and will continue to do so in spite of the recent difficulty, which on closer inspection reflects anything but discreditably on the Japanese Government, as may be explained below. Most of young men going abroad for study come from official circles, in which love of pomp and authority reign supreme. To their youthful ambitious hearts, day-dreams of future greatness will be all the dearer. Political aspirations will naturally occupy the uppermost of their thought. Books dealing with the rights of man and of a nation, the mutual obligations of Government and people, or like subjects will appeal to their fancy more strongly than others. The effect of imbibing those liberal ideas into their crude excitable mind will be one—dissatisfaction. Dissatisfaction with the environment of their homes, with the state of chaos in their country, and in fact with the existing order of things in China. Vain and impulsive, they cannot contain their dissatisfaction. It is bound to find vent in books, pamphlets, newspapers, and what not for wide circulation, and that, through lack of common sense in themselves, in such an inflammatory strain as to kindle a revolutionary spark.

It must not be forgotten either that racial apathy, if not feud, yet divides Chinese from Manchus. There has been a worthy attempt, it is true, at work lately at the harmonious blending of the two. Still it will take yet years before the work is done. Meantime, the faults of the Manchu Government will be magnified out of proportions in the eyes of the unsympathetic Chinese.

The Japanese Government warned by the ominous tendency developing itself among the Chinese students, inimically to the reigning Dynasty, undertook to keep the hot-headed young blood under proper control. This act of neighbourly courtesy even was twisted by unkind foreign critics into an appressive measure against the students, as though Japan's subsequent loss of thousands of them had served her right.

There is no denying that smouldering dissatisfaction prevails in Southern China. The rising generation are, as they can see things better, growing disgusted with their elders and the existing institutions, while incapable themselves of bringiug in the necessary relief. If they can be taught only to be more sensible and co-operate with the Government to the common end, their dissatisfaction will seek no violent outlet.

The sudden lighting up of the benighted, visionary mind with modern ideas of rights and freedom is fundamentally responsible for this unrest.

Because the books that have ushered in the light are Japanese or either those translated from the Japanese into Chinese, must the Japanese answer for the readers' crazy freaks, even though the error of misinterpreting the sound principles embodied in those books lies with the latter?

Such is our own version of the alleged revolutionary movement in China (specifically in the Yangtzekiang Valley) and is intended as a reply to Bishop Graves's accusation.

---

Mr. H. H. Joseph, Director of the P. O. Steamship Co., London, arrived at Newchwang yesterday after touring through India, Burmah, and China, *en route* to Japan *via* Tairen.

We are informed that Mr. Joseph was once before in Japan 12 years ago and became intimately acquainted with the leading lights in the Japanese shipping world, such as the late Mr. Iwasaki, the founder of the Mitsubishi, and Mr. R. Kondo, President of the N. Y. K.

Mr. Joseph is accompanied by Mr. A. M. Marshall for travelling companion, and the two visitors are guests at the 'Blarney Castle.'

## 營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）
旅館 料理 第二營口ホテル 河岸通り
料理 第三樓 元神廟街三十二號（話電七九番）店主 粕屋忠兵衛
料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎
旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉
料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎
旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程
料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏
料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎
料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好
旅館 料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）
旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一）店主 麻田久二
旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎
料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一
料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助
料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松
京東 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）
旅館 金城ホテル 永世街百六十六號
料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎
料理 醉花園
旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街
旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎
營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎
さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角
御料理 柳亭 叮嚀専一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人
御料理 一力 並ニ溫泉 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助
和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号
和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号
料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

## 遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉
御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園揵
旅館 西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉
旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基
御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟
御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎
旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉
遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎
會席 玉家 御料理 主任 西野治三郎
御料理 會席 來々亭 主任 石田清

遼陽城内東街
一和洋御料理 遼東館
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

## 奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）
和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）
商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）
會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側（電話 號）
旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡）溫泉付大勉强キレーデヲイシヒ 樓主 入瀬七造（電話十七號）
旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號）
旅館 料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）
旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ
旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行
奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき様に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上
旅館 高砂館本店 奉天十間房第十五號
御旅館料理 奉天館 高砂館支店 奉天城外廿四 店主 宇本智平
旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎
高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話號）主任 藤島初野
御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ
旅館料理店 勉强館 奉天小西關外北長發園隣


撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成
營口金城ホテル旅館部

會席御料理 金城館

奉天 小西門外
會席御料理 高等御旅館 金城館

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第一七二號
大清通運公司 營口支店


旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲け新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合


歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

新着の御知らせ
東京より
蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コンピープレス等
其他
雛立印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屛風等夫れ々々産地より着荷仕り候
新到
各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屛、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、
營口 加藤洋行（電話八十番）

營口元神廟前
飯塚工程局材料部（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

自造 煉瓦 ●瓦 並に各種石材販賣
營口青堆子 加州組（電話八十六番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停場附近民政署前兒玉町

標子 木板 料木 發賣
營口青堆子
清水寧木局（電話九十四番）

美味安價西洋料理 牛莊亭

北京 扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室清潔料理鮮新

天津 御旅館 芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理


爲替相場（四月五日）
日本向 九十九圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）

日本品最近物價表 加藤洋行
一紙類
一半紙 洋圓九十錢より三圓廿錢
一全狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一室内裝飾品及寢具 矢野洋行
百枚 十三錢以上十八錢
一疊 一薄縁 二圓六十錢以上三圓
十枚 八圓


MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy

本紙定價 一枚ニ付 銀四仙 一ケ月前金 八十仙 半ケ年前金 四弗八十仙